「居るだけで安心するよ」の言葉に励まされ、続けています。

白石（しらいし） 祀子（としこ）さん
山鼻地区の民生委員・児童委員。
ご自身が住む山鼻サンタウン
（南22・23西12）で活動中

始めたきっかけは？

平成13年から民生委員・児童委員としての活動を開始しました。民生委員・児童委員として活動していた夫の勧めもきっかけの一つですが、地域の皆さんと仲良くお話をしたり、いろいろな面でお手伝いができればと思い引き受けました。

活動で気を付けていることは？

具体的な活動は、高齢者でひとり暮らしの方の安否確認や見守り活動などをしています。会ってお話しするときは、相手の話すことを取り上げてしまわないように、聞き手に回ることを意識しています。

また、訪問してもなかなか会えない方もいらっしゃいます。その時は連絡先を書いた手紙を作成して配布することで、後日、訪問した方から連絡をいただくことがあります。

直接会ってお話しすることも大事ですが、無理にお会いしようとしてもいい信頼関係は築けないので、遠回りでもいいから、少しずつ心を開いていただけるように、いろいろ考えながら取り組んでいるところです。

助け合い・支え合える地域づくりのために

活動当初よりは、話をしていただける方が増えてきたように思います。「居るだけで、顔を見るだけで安心するよ」と言われたときは、本当にうれしかったですし、励みにもなりました。また、この活動を通して多くの友人ができました。

同じ敷地内に住んでいながら、今まで出会うことのなかった方々もいますが、山鼻サンタウンに住んでいる人みんなが「ここに住んで良かったな」という実感を強く持っていただけるように、これからも活動に取り組んでいきたいです。

▲白石さんの訪問の様子。この日は見守りを兼ねて、自治会のサークル活動の案内をしました

～地域からの感謝の声～

髙坂（こうさか） 八千代（やちよ）さん（山鼻サンタウン入居者）

定期的に訪問してくれ、相談事にも親身になって対応していただき大変感謝しています。自分の生活を維持しつつ、民生委員・児童委員の活動に取り組まれている白石さんは地域の宝です。私も自分にできる事から始めようと、向かいの棟に住んでいる友人と「日中でも窓のカーテンは閉まったままになっていないか」といった安否確認のやりとりを始めました。

見守りの輪が地域の中でもっと広がっていけば良いですね。

札幌市からのお願い ～訪問調査にご協力を

66歳に到達する直前の方や、転入された66歳以上の方を対象として、民生委員・児童委員が世帯状況や健康状態、緊急時の連絡先などを把握するための訪問調査を行っています。

お住まいの地域を担当する民生委員・児童委員が訪問し、お話を伺うことがありますのでご協力をお願いします。

▲委員は身分証とバッジを身に着けています

シニア世代のための生活便利帳

札幌市では、高齢者の生活に関わる事業をまとめた「シニア世代のための生活便利帳」を、区役所やまちづくりセンターなどで配布しています。

高齢者の暮らしを支えるサービスや施設などが掲載されていますので、ぜひご活用ください。